

平成27年1月30日（金）発行

文責：川野邊勝也

学びのススメ

総合学力調査に向けて

来週、「総合学力調査」（5教科）が実施されます。テスト範囲表が配付され、どんな内容が出されるか把握したところだと思います。

この学力調査は、この1年間の学習の成果を見るための調査です。1年の締めくくりとして、これまでの学習の成果を発揮したいところですよ。

各教科においても、テスト対策が練られ、課題プリント等が出されていると思いますが、それをこなすだけで終わるのではなく、自分でできる勉強を探してやってみましょう。

たとえば、活用できるのは、教科のワークブック等が挙げられます。テスト範囲とワークブックを照らし合わせ、該当する分野、領域に該当する箇所をもう一度解き直してみるということが一番取り組みやすいのではないのでしょうか。解けない問題があれば、教科書で確認したり、先生や友達に聞いて理解する…こんな風に取り組めば、しっかりとしたテスト対策になると思います。（2・3年生は進路対策教材も活用できますよね。）

今はテスト直前。今までと同じペースで勉強してはいけません。（テスト勉強30分、1時間…これはありえないですよ！2時間、3時間は軽くやらないと間に合わないはずですよ。週末はもっとできるかも…）テストモードに切り替え、「結果を出すんだ！」という強い意識で勉強に取り組んでみてください。この週末の頑張りに期待します！



《参 考》福島県学力調査（11月実施、2年生対象）の結果から

今週、昨年11月に実施された2学年対象の「福島県学力調査」の結果が届きました。その中で、学力調査（国・数・英）と意識調査（質問紙）をクロス集計した結果を見ると、納得できる結果が出ていました。それは…

□ 間違った問題を解き直す努力をしている生徒は、学力調査の正答率が高い。

ということです。間違った問題にどう向き合うかが大事です。

回 答	平均正答率
「いつもやり直している」人	約80%
「だいたいやり直している」人	約60%
「あまりやっていない」人	約45%

